

# 高松市教育の情報化 News No.3

## Leaflet for Smart School in Takamatsu City

～ 学校教育の情報化に関する情報をいち早く先生方にお届けします ～

### 情報教育推進パイロット事業 東植田小学校におけるオンライン授業の取り組み


今回は、情報教育推進パイロット校の東植田小学校のオンライン授業の取り組みを紹介しします。東植田小学校は、平成28年度から1人1台端末を整備し、日々の授業や学校生活の様々な場面で、タブレット端末を活用してきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校が臨時休業になったときに、先生方がオンライン授業の研究をして準備を進め、学校再開後には、学校と家庭とをつなぐ取り組みをスタートしています。


東植田小学校の先進的な取り組みは、1人1台端末と電子黒板とを連携した授業やオンライン授業の実施に向けて、大切なポイントや工夫点が満載です。来年度の本格運用を見据えて、ぜひ参考にしてください。

遠隔授業に挑戦

5・6年総合的な学習  
「地域のよさを伝えるCMをつくろう」



100個のアイデアを出すことから始めて、音楽やセリフの流れも工夫しました。



「リズムがよくて記憶に残りやすい」とほめてもらえるようなCMが作れてよかったです。

オンラインによる外部講師の活用

- ふだんは出会えないプロフェッショナルな人とオンラインで双方向につながることで、児童の意欲が高まり、新しい学びの可能性が広がります。
- 授業の打ち合わせの際も、オンラインで互いの顔を見ながら話すと、理解が進み、双方のアイデアが融合し、思った以上の成果が上がって、充実した取り組みにつながります。
- 「CMを作りたい」と児童が思うような単元との出会わせ方を工夫しました。

総合的な学習の流れ

【1】プロモーションCMをつくろう

プロに学ぶ1

【2】「東植田のCMをつくろう」

プロに学ぶ2

【3】「CMを発信しよう」

- プロから学ぶことは、キャリア教育にもつながります。
- 事前の機器準備や調節はとても大切です。

学習支援ツールの活用

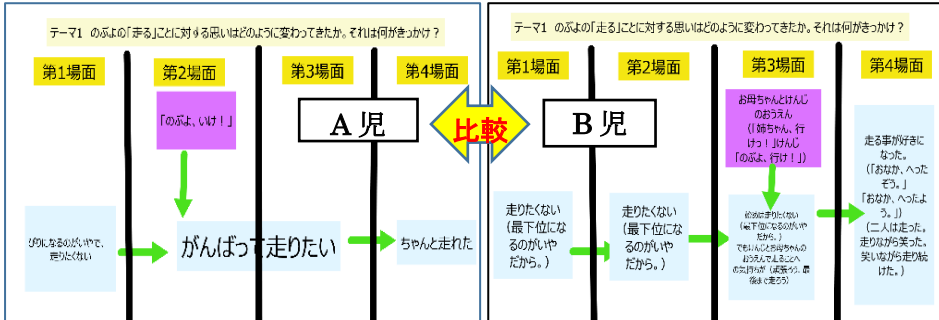
4年国語「走れ」

「人物の心情の変化」について、意見を交流しよう

言語活動の充実を目指した端末の活用

○本単元の中心課題(言語活動)「心情の変化をとらえ、伝え合う」に迫るために、端末の学習ツール『学習ノート』を活用し、中心人物の心情の変化を一目で分かるよう、矢印の流れ図で構成したシートを作りました。授業では各自が端末を使って自分の考えを発表し、交流しました。

図で表すと変化がよく分かるなあ。友だちの図と比べるとのが楽しみ。先生、あと3分、時間をください。



第(4)場面はだれの「だれに対する」気持ちがよく表れているか

1位	けんじ	→	のぶよ
2位	けんじ	のぶよ	→ 家族
3位	けんじ	のぶよ	→ 走る 笑う
4位	お母さん	けんじ	→ のぶよ
5位	お母さん		→ 笑う

最後の第4場面の人物の心情について、「だれの」「だれに対する」気持ちが表れているかランキングを作り、全員で交流して、読みを深めました。

端末と電子黒板を連携し、シートを並べて比較することで、「なぜ?」という疑問が自然に生まれ、積極的に全体交流ができました。

オンライン授業に向けて 学校と家庭をオンラインでつないだ取組

教室には電子黒板とタブレット端末(ホスト)を設置しました。

職員室にはもう一人の先生がいて、トラブル等のときは、電話連絡して、家庭をサポートしました。



学校でつなぐ練習をしていたので、自分一人で接続ができてよかったです。家でクラスのみんなと会えて、楽しかったなあ。

学校と家庭をつなぐオンライン授業の実現に向けたステップを作っています

【STEP1】家庭のインターネット環境調査

丁寧に聞き取ることが様々な問題解決につながります。

【STEP2】学校でのWeb会議システム練習

使い方マニュアルを作成して配布しました。

【STEP3】保護者のもとで、学校との接続練習

「17:00~18:00にします」と時間を決めて、クイズやゲームを行うと楽しくできました。現在はここまで、実施できています

【STEP4】保護者のもとで、学校と接続双方向授業

【STEP5】子どもが自分で学校と接続双方向授業